

第 11 回レスキューロボットコンテストで神戸大学「六甲おろし」チームが「ベストパフォーマンス賞」と「ベストプレゼンテーション賞」等を受賞

2011 年 8 月 6-7 日にわたって第 11 回レスキューロボットコンテストが神戸サンボーホールにおいて行われ、ファーストミッション、セカンドミッションを勝ち抜いてきた 8 チームによるファイナルミッション（決勝戦）が 7 日午後に行われました。ファイナルミッションまで進んだ神戸大学「六甲おろし」チームは、2 日間にわたるミッションの総合ポイントで最高点を獲得し、「ベストパフォーマンス賞」を受賞し、併せて「日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰」を受けました。また製作したロボットやそのロボットによるダミー人形の救出戦略を紹介するプレゼンテーションが最も優れていたとして、「ベストプレゼンテーション賞」が「六甲おろし」チームのプレゼン担当の柏木洋慶キャプテンに授与されました。

このレスキューロボットコンテスト（レスコン）は防災や災害対応の啓発と次世代を担う人材育成を目的として、2000 年から毎年実施されているものです。今年も 25 チームからの応募があり、書類選考、予備予選を経て 16 チームが本戦に出場し、決勝に進出できたのはその中の 8 チームでした。「六甲おろし」チームは、決勝戦では 3 体すべてのダミー人形を大きなダメージを与えることなく短時間で救出し、8 チーム中最高のポイントを獲得するという素晴らしいパフォーマンスを見せてくれ、「ベストパフォーマンス賞」にふさわしいものでした。

詳しくは、コンテストホームページの HP をご覧ください。

<http://rescue-robot-contest.org/>

